

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
20	交通安全協会補助金	都市整備部 道路管理課

事務事業の概要	事業の目的		根拠法令等
	安全で快適な市民生活の確保に資することを目的に、交通安全対策活動を行う西東京市交通安全協会に対して、その活動に要する経費の一部を補助する。 (予算事業名 08.01.03.01交通安全推進事業費(交通安全協会補助金))		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業の概要		
	交通安全協会は、地域住民による交通安全のボランティア団体で、各警察署単位に設置されており、地域にあった交通安全啓発活動を展開している。主な活動として、春秋の交通安全運動や交通安全講習会等市内の交通安全の普及啓発事業や成人式や市民祭り等、市の行事の交通誘導を行っており、市では交通安全対策活動を行う西東京市交通安全協会に対して、その活動に要する経費の一部を補助している。 ■ 補助対象事業 ・交通安全対策事業及び管理運営事務 ■ 補助対象経費 ・報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金 ■ 補助金額 ・西東京市の人口に10円を乗じて得た額を補助基準額とする。 ただし、補助対象経費の実支出額が補助基準額に満たないときは、当該実支出額を補助基準額 ■ 過去の見直し経過 平成29年に要綱を改定し、補助金額の算定根拠を設定するとともに、補助対象事業、補助対象経費を明確化した。		
事業開始時期	平成13年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目		単位	28年度 (決算額)	29年度 (決算額)	30年度 (決算見込み額)	令和元年度 (当初予算額)
事業費(A)			1,900	1,900	2,000	2,000
内訳	主要な経費: 補助金		1,900	1,900	2,000	2,000
	その他: なし		0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他 ()		0	0	0	0
	一般財源		1,900	1,900	2,000	2,000
所要人員(B)		人	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	731	766	773	791
総コスト(D)=(A)+(C)		千円	2,631	2,666	2,773	2,791
単位当たりコスト (E)=(D)/ (活動日数)		千円	36	36	45	—

指標名		単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度
①活動日数	実績値	日	73	74	62	/
	実績値					
《指標とした数値変化に対する要因分析など》 ①春・秋の交通安全運動、総合防災訓練、放置自転車クリーンキャンペーン、市民まつり警備、成人式警備、公民館まつり、交通安全講習会等幅広く活動しており、開催される行事により毎年変動する。						

事業環境等	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	団体の性質上、活動内容は、他市とほぼ同等の水準と判断される。補助金額については、多摩26市中、補助金総額の少ない方から10番目、人口一人あたりの補助金額に換算すると3番目と低い水準にある。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—

【一次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	高い	市内の交通事故を減少させ、安全で快適な生活環境をつくるため、必要な事業である。
実施主体の妥当性	適切	交通安全運動や市の行事の交通整理をボランティアで行なう団体は交通安全協会以外ない。
事業(補助)の対象	適切	平成29年度に補助要綱を改正し適正を図った。
事業(補助)の内容	適切	平成29年度に補助要綱を改正し適正を図った。
受益者負担	—	—
事業コスト	安い	補助金総額で26市中10番目、人口一人あたりの補助金額では3番目の低さで、低コストである。
業務負担	軽い	交通安全運動の啓発活動など現在の職員体制では対応できない業務である。
一次評価	評価の判断理由及び現状の課題など	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	平成29年度に西東京市交通安全協会補助金交付要綱を改定し、補助金額の算定根拠を他市の事例を参考に新たに設定するとともに補助対象事業及び補助対象経費を明確に規定した。規定した補助対象経費に対して適正な事務執行に取り組むよう努めている。今後は、安定した自主財源の確保と合わせ、協会員の高齢化が著しく、会員数の減少が進んでいるため、体制の強化や人員の確保が課題である。	

【二次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	高い	安全で快適な市民生活を確保するために必要な事業である。
実施主体の妥当性	適切	交通安全協会は、交通安全のボランティア団体で構成されている。
事業(補助)の対象	適切	交通安全協会は、交通安全のボランティア団体で構成されており、適切である。
事業(補助)の内容	課題有	補助金額が人口に応じ変動するため、補助団体の活動実態と連動せず課題である。
受益者負担	—	—
事業コスト	安い	他自治体と比較すると低廉である。
業務負担	軽い	補助金の交付に関する事務処理が中心であり、職員の業務負担は軽い。
二次評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	本補助金は、交通安全対策活動を行う西東京市交通安全協会に対して、その活動経費の一部を補助するものであり、本市の人口数に基づき算出した補助基準額を上限とし、活動実績に応じて補助金を交付している。協会員の高齢化や減少といった課題もあるため、引き続き、各種交通安全対策活動の推進に向けて支援を行うとともに、市補助金が効果的に活用されるよう、補助対象事業などの改善・見直しを図る必要がある。	

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--